

宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

また、入館者が少ないとの理由だけで蘭学館をこわしたり、不要な改造はせず、開館時間の拡大を中心に進めるべきと思う。

だから、もともと民間参入に反対でないのに、賛成でも良いのだが、普通は、この条例が通った後に、業者を一般公募し、入札をして決定する。しかし、今回は、条例改正前に、ツタヤに業者を決めた後に改正するなど、やり方が変であるしかも、そのツタヤとの契約する

号議案への対応

業者を一般公募し、入札をして決定する。しかし、今回は、条例改正前に、ツタヤに業者を決めた後に改正するなど、やり方が変である

きるかどうか、国と交渉し明確に
してもらいたい。

追伸 7月6日に市より
①改築②別館案③現地建替案

新幹線の残土の活用を！

現在、長崎新幹線の工事は、嬉野町の俵坂トンネルが中心で、今後、武雄市の東・西川登地区のトンネル工事に入る予定。

そこで、武雄市は、今回、トンネル残土を処分する為に、東川登町の大山路（瀬ノ尾浄水場と不二コンクリートの間）の谷を、7万8千円を約4194万円で購入。

何で、新幹線事業に市が支出するのか？との疑問をもたれると思うが、鉄道運輸機構は、運送や整地、進入道路等の整備などの費用は負担する。ただ、残土の受け入れのみを自治体に求めている。

先行する嬉野市においては、その残土を有効活用していた。

①みゆき公園内、大型駐車場（完成）
②みゆき公園内、球技場（造成中）
③新幹線嬉野駅の周辺造成（予定）

と、残土処分場でなく有効活用。また現在は、②と③の間で、活用



② 嬉野みゆき公園球技場（造成中）



① 嬉野みゆき公園駐車場（完成）



武雄市の残土処分場〔東川登〕（完成イラスト）



③ 嬉野市新幹線駅周辺造成（予定）

土地買いもどし1億3千万円とソーラー

土地開発公社と言うのは、高度経済成長期、公共工事を市が数年に渡って行う時に、値上り前に土地を公社に一括購入させ、後で市が、買いもどし、事業費全体を低減させる為の組織。

しかし、開発公社は、銀行からの短期借入れ金で購入しているもので、市が早期に買いもどさないと金利が土地代に上乗せされ反対に高価で買いもどす事態になる。

以前は、公社独自の職員もいたが、現在は、市の財政課職員が兼務し、役員も部長が兼務して、実質は市の別会計のような型。

それは、土地が動かず、経費を減らす為で、ちなみに、現在、約13億円分の土地を所有。〔11ヶ所〕主なものは、

◎清本跡地（武雄温泉駅南）9億円
◎本都ダム跡地（若木町）1.3億円
◎杵藤ク残地（朝日町）0.5億円

中学校3年教室にエアコン設置

近年の温暖化の中、市立中にもエアコンが設置される。県立青陵中との公平性や、校舎改築プレハブにも付いていて身近になつていた事もハードルを低くしたと思う。

ただ、今回は、受験を控える中3の教室16クラス分のみで整備で、費用は、約1700万円で、1クラス2台で平均約106万円。

工事は、8月中とのことで、利用は9月からの予定。利用電気料金は、市が負担。

ただ、だれもが、思うことは、中学1、2年や小学校への整備は大だが、ぜひ来年度予算までに整備計画を定めていただきたい。

一方、昨年の「扇風機」整備も中途半端、また、iPad整備も、山内東小と武内小から広げられていないので、着実な整備を望む。

競輪場ウォークトップ整備

今回、市は、若木の本部ダム建設時の残土広場で、若木の湖水祭りの時の会場でもある所を、1億3053万円で買いもどし、ソーラー発電の会社へ、売却が賃貸もしくは、市がパネルリースで取り組むと言う。心配される湖水祭りとの関係は地元と調整済みとの話である。

ちなみに、面積は約2525坪で、坪単価は約3万5千円。7月9日、13日まで公募して、その中から一番いい条件の会社と契約するとの事だが、簿価と実勢価格との差などもあり、1億3千万円で売れるかは不明。

ただ、私としては、土地が平坦でソーラーパネルを設置しやすい利点があり、ぜひ売却し、残る公社の清本跡地の売却の実現を願う。

武内立野川内保育所新築へは、武雄保育所は、いつ？

国の「安心こども基金」の補助金は、H21～23年度で、費用の2/4を国、1/4を市が出す大変有利な補助金で、山内保育園や志久保育園が活用し、改築整備に取り組んでもらった事を以前に紹介した。

一方、H23年度中に申請をすればH24年に着工しても補助金がぎりぎり受けられる事も伝えていた。今回、武内保育園が、給食室等のみの改築計画を変更して、移転



現在の武内保育園



現在の立野川内保育園

住民票等の発行簡素化

印鑑証明書や住民票を市に取りに行く時は、用事が重なり急いでいる状況が多い。その時、証明書発行の為の住所、氏名の記入がめんどくさいと感じる方も多いと思います。しかも、窓口へ来た人の住所・氏名・必要となる人の住所・氏名を書くが、本人が取りに来ているのに、2度も同じ内容を書くことに改良の余地があると思っていたが、どう改良を求めると長年の間思い付かなかった。

たまたま、福岡の駅に福岡市役所の窓口サービスの出張所があり、なにげなく寄って見ると、私の不満である2度書きを省略する用紙になっていた。要は、必要な人の住所・氏名を書き、次に本人に○をつければ、窓口に来た人の欄を書かずに省略して出せるもの。

今議会、提案したが、検討をしてもらえるようなので期待。

国保の現状と福祉基金

病院にかかる人が、急増しているのか、予算で言えばH23年度の保険給付費約41億円が、H24年度約44億円と3億円も増加。

ただ、医療費は最終的な結果を見ないと分からない傾向は判る。一方、以前から、国保会計は、市の特別会計の中で唯一赤字。

その金は、次の年の予算から前借りする方式である。今回、H23年度までの分の繰上充用（前借り）が約4億円と明らかになった。

H22年度までが約2億3千万円に、H23年度で約1億7千万増加。先般、市は、国保会計の赤字に対し、市費を投入し加入者の負担軽減すると明言された。

今回、市は、市費投入の原資として「地域福祉基金」約6億5千万円を活用したいとの意向を表明。しかし、この基金は、国が地域のボランティア活動支援の為に利子を活用する目的で与えている基金で、取りくずして利用することを認めていない。それをどう国保に入れようとしているのか？現実性があるのか？国とどう交渉しようとしているのかは不明。